







あなたの子育で応援します!

こども家庭センターでは、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を提供します。 妊産婦さん・子育て世代・お子さん達の様々な悩み事の相談に応じます。







- ☑思いがけず妊娠した
- ☑初めての妊娠で不安
- ☑これからの生活が心配



- ☑ 赤ちゃんの世話がうまくいかない
- ☑ ミルクや母乳、離乳食ってどうすすめるの
- ✓ 私の子育てこれでいいのか不安







- ✓ 身近に助けてくれる人がいない
- □ 育て方で困っている
- □ 地域の子育でに関する事、 保育所の情報が知りたい





学童期

青年期



- ▽学校にいかず、 生活リズムが乱れている

港区保健福祉センター『こども家庭センター』では

地域の保健師、家庭児童相談員、心理士、保育士が相談をお受けします

地域保健活動

地域の担当保健師へ相談

3階33番 地域保健活動 🗗 6576-9968



子育て支援室

家庭児童相談員、心理士、保育士へ相談

3階32番 子育て支援室 🖸 6576-9856

スマホに子守りをさせないで



港区長 山口照美

今年中学1年生の息子が生まれたころにはYouTubeもスマホ・タブレットもありました。共働きで忙しく、家事の間につい動画を見せてしまう。「スマホに子守りをさせないで!」と言われても……という気持ちはよくわかります。わかってはいるのですが「時間制限なく与えっぱなし」になると、やはり心身の成長に影響が出てきます。小さな画面を見続けることによる、こどもの内斜視(寄り目)が増えたというデータもあります。

また、乳幼児期から、親も子も別々の画面を見ている姿も見かけます。目を見て会話する機会が少ないと、こどもの発語の遅れや愛着の課題につながります。「使用時間を決める」「代替の遊びや絵本を用意する」「物理的に触れないようにする」など、スマホ・タブレットとのつき合い方を見直してみましょう!

小中学生に対する指導も学校を通じて行っていますが、港区では乳幼児期から「スマホ・タブレットと上手につきあう」意識 をみんなで育てていければと思っています。同時に、地域の子育てサロンやイベントを活用して、親子で一緒に楽しむ機会を増 やしてもらえると嬉しいです。